

第3章 各ライフステージにおける人づくり

市民一人一人が基本目標を達成するには、家庭や地域、学校などに支えられながら、「21世紀社会を生き抜くために求められる力」を発達段階に応じて適切に身に付けていくことが重要です。

第3章では、基本目標を発達段階に応じたライフステージ別に具体化するとともに、「自分づくりに関する目標」と「次世代育成に関する目標」を明記することで、「創造」的に課題を解決したり、世代間の「対話」が促進できるようにしました。また、ライフステージの目標の実現を支援するため家庭や地域、市民活動団体、幼稚園・保育所、学校、企業、行政の役割を明らかにしました。



1 乳幼児期（心と体の根っこをはぐくむ）

（1）目標

自分づくりに関する目標

【思いやり，共生】

遊びの中で、友達と触れ合い、けんかをしたり仲直りをしたりしながら，より良い友達関係をつくれます。

元気なあいさつと正しい言葉遣いをします。

「やってよいこと」と「いけないこと」を区別し，我慢することを身に付けます。

自然の厳しさや素晴らしさ，生き物の生死にふれ，感動や命を大切する気持ちをもちます。

【文化創造】

地域の自然に触れたり，祭りなどの伝統行事に進んで参加したりするようにします。

外国の友達と仲良くします。

【きまり遵守】

「起床」「食事」「睡眠」などの基本的な生活習慣を身に付けます。

家庭や幼稚園・保育所のきまりを守ります。

交通規則などの社会のきまりを守ります。

乳幼児

【自己実現】

「人」「モノ」に積極的にかかわり、いろいろな「ためし」をします。
進んで家事などを手伝い、最後までやり遂げます。
ごっこ遊びや買い物の経験を通して、お金の役割を知ります。

【課題解決】

よく笑い、よく泣き、十分に自分の感情を表現します。
遊びながら、自然などの様々な不思議を学びます。
遊びを通して、様々な表現方法を身に付けます。
進んで本に親しむようにします。
パソコンなどと仲良しになります。

【技術・文化の伝承，科学の理解】

ものづくり体験教室などで、試行錯誤しながら、ものづくりに取り組めます。

【健康体力の保持増進】

友達と、外で元気に遊びます。
好き嫌いなく、規則正しい食事をします。

(2) 役割

この時期の人づくりへの支援は、家庭や幼稚園・保育所による支援を中心に、地域社会、市民活動団体などによる支援、行政の直接支援を充実させることが大切です。

家庭の役割

- ・子どもと保護者の心の通い合う愛情の中で、孤独や不安から子どもを守り、子どもが「自分が困ったら保護者が助けてくれる」などの安心感もてる信頼関係を築くよう努めます。
- ・子どもの「やってみたい」という感情を可能な限り尊重し、できたことをしっかりと褒める。また、やってはいけないことは、きちんと理解をさせます。
- ・「起床」「着替え」「洗面」「食事」「入浴」「排泄」「睡眠」「あいさつ」などの基本的な生活習慣が身に付くようにさせます。

幼稚園・保育所の役割

- ・「学ぶ姿勢」や「他を思いやる姿勢」、「体力を向上しようとする姿勢」がバランスよく身に付くように努めます。
- ・遊びを通して、友だちに自己主張したり、相手を受け入れたりして仲良くできる力が身に付くように努めます。
- ・基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、子育て情報を発信するなど、家庭の相談や地域活動のサポートに努めます。

地域や社会，市民活動団体等の役割

- ・思いやりや人間関係形成の基礎となる力を育成するため，多くの子どもたちが一緒に遊ぶ場や切磋琢磨の場の提供に努めます。
- ・より良い親子関係を築くために，親と子が共に体験活動などができる機会や場の提供に努めます。
- ・感動や命を大切に作る心を育てるために，自然や動植物と触れ合う場の設定に努めます。

企業等の役割

- ・保護者が，家庭教育や地域活動へ積極的に取り組める職場環境（休暇制度など）を充実させます。
- ・様々な体験の場の提供など，幼稚園・保育所の教育（保育）活動や家庭教育，地域活動への協力を行います。

行政の役割

- ・乳幼児期の人づくりを推進するため「子育て相談ネットワークの整備」「子育て情報の発信などの家庭教育支援」「市民活動団体などの支援」「幼稚園・保育所の教育（保育）支援」に努めます。
- ・「子育て」や「教育」に関する支援ネットワークの整備の支援とコーディネーター育成に努めます。

2 少年期（夢と希望と自信をはぐくむ）

（1）目標

自分づくりに関する目標

【思いやり，共生】

動植物や乳幼児，高齢者との触れ合いなどを通して，命に限りがあることを自覚し，自己のより良い生き方を考えます。

友達など相手の立場を考えながら，責任をもって行動します。

家庭の手伝いや学校の奉仕活動などを通して，奉仕の気持ちをもちます。

自然や社会の人々と触れ合いながら，自然の偉大さ，人の温かさを知り，自然や集団の一員としての自覚と責任をもちます。

争いごとや差別について学び，その改善に向けた取組を身近なことから実践します。

【文化創造】

進んで，郷土の歴史，伝統文化，芸術などの多様な文化に触れ，体験できるようにします。

外国人との交流を通して，異文化への関心と理解をもつようにします。

【きまり遵守】

学校や地域のルールを守り，他人に迷惑をかけないようにします。

交通規則など，法令遵守の必要性を自覚し，進んで守るようにします。

社会の一員としての権利や義務を正しく理解します。

少年

【自己実現】

様々な課題にくり返し挑戦し，自分の特徴や可能性について考えます。
自己の行いを振り返り，改善策を考えます。
学校の社会体験活動や親の働く姿などにより，「自分はこうなりたい」という夢や希望を膨らませるとともに，働く意義を理解します。
労働の対価としてのお金の意義を理解し，カードなどの金銭に関する社会の仕組みを学びます。

【課題解決】

自分の考えをよく話し，相手の意見との違いに気付き，互いにより良い解決方法を発見します。
正しい日本語を身に付けるとともに，外国語の習得に心がけます。
情報モラルを守り，情報機器を使えるようにします。

【技術・文化の伝承，科学の理解】

原理や仕組みを考え，創意工夫しながら，ものづくりに取り組みます。

【健康体力の保持増進】

ルールを守り，仲間との関係を深めながら，進んでスポーツに取り組みます。
スポーツやレクリエーションなどに積極的に取り組み，体力向上に心がけます。
自己の健康などに配慮した食事をします。

(2) 役割

この時期の人づくりへの支援は、集団活動が可能な小中学校や地域社会による支援を中心に、子どもを温かく見守る家庭、市民活動団体などの関係団体による支援も充実させることが大切です。

家庭の役割

- ・子どもの主体性を尊重し、様々な集団活動への参加を促します。また、結果に対しては、適切に賞賛や励ましを行います。
- ・家事の役割分担や家族行事の計画を担当させ、家族の一員である自覚と責任感の育成に努めます。
- ・より良い社会生活をする上での基本的なルールを守る姿勢を身に付けさせます。

小中学校の役割

- ・確かな学力や豊かな人間性、健康・体力などの「生きる力」の育成に努めます。
- ・社会や周囲の人々に配慮した判断力や自律心とルールを守る姿勢を身に付けさせます。
- ・奉仕活動などの社会体験活動を通して、奉仕の精神や職業観、勤労観の育成に努めます。
- ・乳幼児や高齢者との交流による生命尊重の気持ちをもたせる教育を充実させます。
- ・スポーツに積極的に取り組む姿勢と「食」に関する自己管理能力の育成に努めます。

地域や社会，市民活動団体等の役割

- ・異年齢集団による活動などを通して，人間関係を形成する手法を身に付けるように努めます。
- ・地域活動の計画・実行・評価を子ども自らに行わせ，問題解決能力を養うとともに，自主性の育成に努めます。
- ・地域活動を通して，社会生活上，必要とされる基本的なルールを守る姿勢を身に付けさせます。

企業等の役割

- ・保護者が，家庭教育や地域活動へ積極的に取り組める職場環境（休暇制度など）を充実させます。
- ・子どもの豊かな心や職業観，勤労観，チャレンジ精神，創造力を身に付けさせるため，積極的に学校教育の社会参加体験などへの協力に努めます。

行政の役割

- ・少年期の人づくりを推進するために，「子ども相談ネットワークの整備」「子どもに関する情報の発信などの家庭教育支援」「市民活動団体などの支援」「学校教育支援」に努めます。
- ・「子育て」や「教育」に関する支援ネットワークの整備の支援とコーディネーター育成に努めます。



3 青年期（自分らしさをはぐくむ）

（1）目標

自分づくりに関する目標

次世代育成に関する目標

【思いやり，共生】

差別と偏見のない地域づくりに取り組みます。

国を超えた人々との交流などにより，日本の素晴らしさや今後のあるべき姿を認識するとともに，「異なること」を受容し，共に生きようとする姿勢を身に付けます。

乳幼児や子どもを生んだ母親，高齢者との交流を通して，生命誕生の素晴らしさと「老い」について考えます。

地域の「ニューリーダー」として，年下の子どもたちを対象とした活動などを企画立案し，責任をもって実践します。

【文化創造】

様々な文化・芸術を学び，異文化交流を実践します。

高齢者との交流の中で，郷土の歴史，伝統文化，芸術など多様な文化を学び，それらを子どもたちに伝えます。

【きまり遵守】

県や国など地域よりさらに大きな「社会」を考え，身近な「モラル」から実践します。

道路交通法や刑法などの法令を遵守します。

社会の一員としての義務を果たします。

青年

【自己実現】

自分が正しいと信じることを進んで表現・実践し，結果に対しては，改善策を考えます。

職業生活の充実のために，リカレント教育など，様々な教育制度を積極的に活用します。

職場や地域の大人との交流により，望ましい勤労観を身に付けます。

生活の中で，より良い金銭感覚を磨きます。

【課題解決】

将来のイメージを設定し，「仕事をする事」と「生きる事」を対比させながら，実現に向けた課題を見つけ出し，解決に向けて創造的に取り組みます。

国際交流に活用できる語学力や様々な表現力を身に付けます。

情報モラルを守り，様々な情報技術の習得に取り組みます。

【技術・文化の伝承，科学の理解】

多様な原理や仕組みを取り入れ，独創的なものづくりに取り組みます。

【健康体力の保持増進】

スポーツのルールを守り，仲間との関係を深めながら，スポーツに取り組みます。

スポーツやレクリエーションに積極的に取り組み，体力向上に心がけます。

規則正しい生活と自己管理の姿勢を身に付けます。

(2) 役割

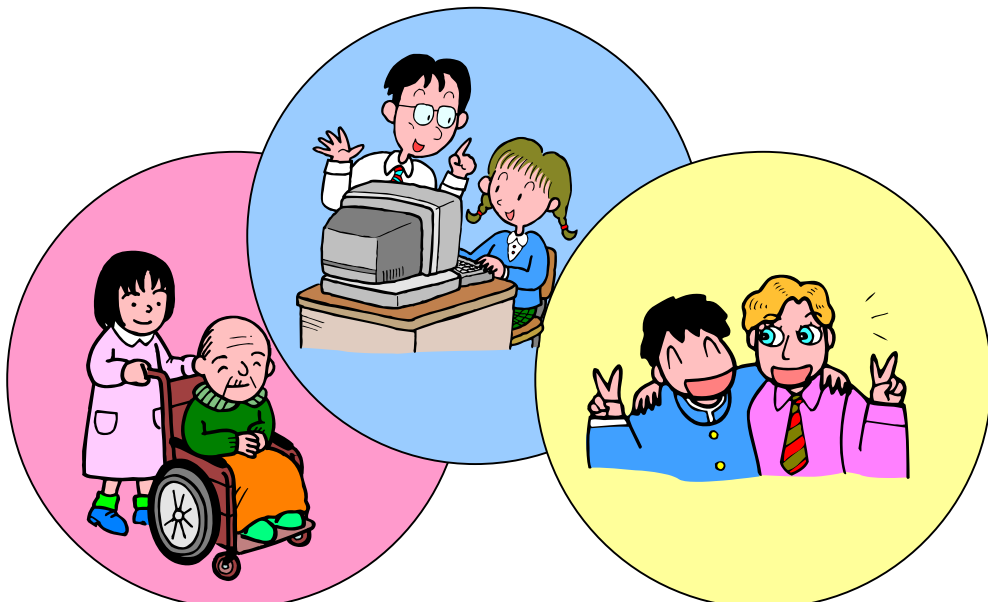
この時期の人づくりへの支援は、幅広い年齢層で構成される地域社会及び市民活動などにおける集団活動の支援を中心に、就業体験機能を充実させた高等教育（高校，専修専門，大学など）による支援，よき先輩社会人として相談機能をもつ家庭による支援を充実させることが大切です。

家庭の役割

- ・青年の夢を膨らませるとともに、将来の生き方について共に考え、先輩社会人として、的確なアドバイスに努めます。
- ・青年の生活の自立をめざし、何事も自分で決め、実行し、結果に対して責任をもたせるよう努めます。

高等学校，専修専門学校，大学の役割

- ・就職や進路変更などにも柔軟に対応できる高等教育の仕組みを通して、自己実現に向けた様々な知識や技能を提供します。
- ・社会的自立を目指し、何事も自分で決め、実行し、その結果に対して責任をもたせるよう努めます。



地域や社会，市民活動団体等の役割

- ・ 奉仕活動や地域行事に企画段階から積極的にかかわらせ，世代を超えた交流を通して，責任感を身に付けさせることや社会的に認められる自分らしさを獲得させます。
- ・ 地域よりさらに大きな社会活動を通して，差別や偏見について考えさせ，社会人として身に付けなくてはならない力の育成に努めます。
- ・ 乳児や高齢者に対する奉仕活動などにより，生命尊重の精神をもたせる教育を充実させます。

企業等の役割

- ・ 青年の望ましい職業観や勤労観を身に付けさせるため，学校教育の社会参加体験や就業体験制度などへ，積極的に協力するように努めます。
- ・ 保護者が家庭教育や学校教育，地域活動に常にかかわることができる職場環境づくりに努めます。
- ・ 仕事を遂行する上で必要なマナーや技能などを身に付けられるよう，企業における研修の時間や場を十分に確保します。

行政の役割

- ・ 青年期の人づくりを推進するために，「悩みなどに関する相談ネットワークの整備」「自己実現に関する情報の発信」「市民活動団体などの支援」「学校教育支援」に努めます。
- ・ 進路変更などに対応できる柔軟な教育の仕組みの構築に努めます。
- ・ 青少年支援ネットワークの整備の支援とコーディネーター育成に努めます。

4 成人期（自己の可能性と次世代をはぐくむ）

（1）目標

自分づくりに関する目標

次世代育成に関する目標

【思いやり，共生】

家族一人一人がもつ「らしさ」を尊重し，より良い家庭を築きます。
地域のリーダーとして，地域の人々との触れ合いを深め，望ましい地域づくりに取り組みます。
積極的に奉仕活動を企画立案し，責任をもって実践します。
礼儀を重んじ，差別と偏見のない地域や社会づくりに取り組みます。
子育て情報の共有化に努めます。
乳幼児や高齢者への奉仕活動などを通して，子どもたちに「命の大切さ」や「命には限りがあること」を伝え，自己の生き方を考えさせます。

【文化創造】

身に付けた文化・芸術などにより，世界の人々との交流に取り組みます。
多様な文化活動に取り組み，社会に生かすようにします。
自己の生きがいとして，郷土の自然や歴史，伝統文化を次世代に伝えます。

【きまり遵守】

社会的な責任を自覚し，より良い地域や社会づくりに取り組みます。
家庭や地域の子どもたちに，法令遵守の大切さを教えます。

成人

【自己実現】

自主的に様々な活動の企画立案や実践を行うとともに、その結果に対しての責任をもちます。

職業生活の充実のために、積極的にリカレント教育などを活用します。

夢を追いながら、積極的に自己実現に取り組み、その姿を子どもに「そのまま」見せ、「夢をもつことの大切さ」を伝えます。

【課題解決】

職業生活や趣味などにおける自己実現を目指し、積極的に自己の課題解決に取り組みます。

国を超えた様々な人々との交流を通して、豊かな表現力を身に付けます。

新しい情報技術の習得をします。

地域の子どもや青年に対し、自己の経験や知識、技能の伝達を通して、「学ぶ」ことの意義を伝えます。

【技術・文化の伝承、科学の理解】

新しい技術や科学の理解に努め、豊かな生活の創造に努めます。

職業や趣味で身に付けた様々な技術を子どもたちや青年に伝承し、新しいものを創り出す喜びを伝えます。

【健康体力の保持増進】

スポーツやレクリエーションなどを通して、積極的に健康管理に努めます。

世代を超えたスポーツの指導や交流により、次世代の育成に取り組みます。

健康について考えた食事の仕方を伝えます。

(2) 役割

この時期の人づくりへの支援は、地域社会や幼稚園・保育所・学校などとの連携協力により、成人期の重要な役割である子育てを充実させることが大切です。また、地域活動や市民活動により、自己実現に向けたリカレント教育や次世代育成の取組を充実させることも重要です。

家庭の役割

- ・家庭における子育ての重要性を認識するとともに、子どもとの温かな人間関係のもと、愛情豊かな子育てに努めます。
- ・配偶者や祖父母などの人間性を受け入れ、家族とのより良い人間関係の形成に努めます。

幼稚園・保育所，専門学校・大学の役割

- ・保護者に対して、子育て情報を提供するとともに、相談機能の充実に努めます。
- ・幼稚園教諭や保育士による施設を利用した子育て支援の充実に努めます。
- ・社会人の自己実現や職業能力開発を支援するため、知識や技術を習得できるリカレント教育などの充実に努めます。

地域や社会，市民活動団体等の役割

- ・地域活動や生涯学習の機会をつくり、子どもとのより良い関係の構築や自己実現に向けたサポートをします。
- ・成人のもつ知恵や技術などを生かした「ものづくり体験教室」などの場の設定に努めます。

企業等の役割

- ・家庭教育や学校教育，地域活動に，保護者が積極的にかかわれる職場環境づくりに努めます。
- ・従事者の自己実現のため，研修などへ積極的に参加ができるような職場環境（休暇制度など）づくりに努めます。
- ・お年寄りや体に障害がある方と十分な家族関係を築けるような職場環境づくりに努めます。
- ・子育てが終わった主婦などを積極的に雇用し，働く場を提供します。

行政の役割

- ・家庭における子育ての重要性を認識するとともに，子どもとの温かな人間関係のもと，愛情豊かな子育てに取り組めるよう「子育て相談ネットワークの整備」「子育て情報の発信などの家庭教育支援」「市民活動団体などの支援」「幼稚園・保育所，学校教育の支援」に努めます。
- ・配偶者や祖父母などの人間性を受け入れ，家族とのより良い人間関係を形成するため，相談事業や研修事業などの充実に努めます。



5 高齢期（社会と自己をはぐくむ）

（1）目標

自分づくりに関する目標

次世代育成に関する目標

【思いやり，共生】

社会の人々との触れ合いを深め，互いに思いやる社会生活をします。
積極的に奉仕活動を企画立案し，改善点について助言します。
より良い社会づくりのリーダーとして，長年培った知恵，経験，技術を活用し，次世代を育成します。
生命尊重の精神や差別と偏見のない社会づくりに取り組みます。

【文化創造】

磨かれた芸や受け継いだ郷土芸能などにより，世界の人々との交流に取り組みます。
長年の文化活動で培われた経験と知識を社会に生かすようにします。
自己の生きがいとして，郷土の自然や歴史，伝統文化を次世代に伝えます。

【きまり遵守】

社会的な責任を自覚し，より良い社会づくりに取り組みます。
社会全体に向け，社会生活をする上でのきまりを守ることの重要性を知らせます。

高齢者

【自己実現】

様々な活動の企画立案や実践，結果に対して責任をもって助言します。
過去の経験や知識を基に生涯学習に取り組み，新しい自己の発見に努めます。
自己の生きざまについて，地域の子どもたちや次世代と語り，子どもたちの生き方を考えさせるように努めます。

【課題解決】

職業生活や趣味における自己実現を目指し，積極的に自己の課題解決に取り組みます。
新しい情報技術の習得など，学び続ける姿勢を持ちます。
社会の「ご意見番」として，長年培った経験や知恵，技術を活用し，ボランティア活動などを通して次世代の育成に取り組みます。

【技術・文化の伝承，科学の理解】

新しい技術や科学に興味をもち，自分の生活をより豊かにするために活用します。
職業生活や趣味で身に付けた様々な技術を子どもたちや次世代に伝承し，新しいものを創り出す喜びを伝えます。

【健康体力の保持増進】

体力保持のために，自分に合ったスポーツやレクリエーションに取り組みます。
健康の維持管理に努めます。
健康について考えた食事の仕方を伝えます。

(2) 役割

この時期の人づくりへの支援は、生きがいをもった生活を充実させるとともに、高齢者の英知を子育てや次世代の育成に生かせる仕組みを構築することが重要です。

家庭の役割

- ・身体的な衰えや親しい人との死別など身体的・精神的な負荷に対する支援をするため、家族との温かな人間関係のもと、自分の人生などに前向きな姿勢がもてるように努めます。
- ・長い人生から得られた経験や知恵などを若い家族に伝えることを通して、家庭のかけがえのない存在である認識をもつことができるようにします。

学校の役割

- ・高齢者の自己実現や職業能力開発を支援するため、知識や技術を習得できるリカレント教育などの充実努めます。

地域や社会，市民活動団体等の役割

- ・長い人生から得た経験や知恵を生かした様々な人々との交流やボランティア活動により、社会的な自己存在感を獲得したり、様々な世代との活発な交流ができるように努めます。
- ・体力の維持増進のために、様々な健康づくりやスポーツ・レクリエーション活動の機会の確保に努めます。

企業等の役割

- ・働く意欲のある高齢者を積極的に雇用し、高齢者が社会貢献する機会の確保に努めます。

行政の役割

- ・奉仕活動や生涯学習の講師など各種行事などの指導者として、高齢者の優れた英知を生かす場を確保し、高齢者が生きがいをもてる仕組みを構築します。

